

国際言語文化研究科 全学向け授業案内

2005年度全学向け「外国語特別研修コース」及び 「セミナー」について

国際言語文化研究科全学向け授業は「外国語特別研修コース」及び「セミナー」からなっています。「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業、「セミナー」は外国語の学修を通して言語文化の知識を養い、異文化理解を深めることを目指す授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

I. 授業科目（授業時間割表及び授業要覧は6ページ以降に掲載）

外国語特別研修コース

科 目		開講期間		科 目		開講期間	
		前期	後期			前期	後期
英 語	Level 2 a	○	—	フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮・韓国語 ポルトガル語	Level 1 a	○	—
	Level 2 b	—	○		Level 1 b	—	○
	Level 3 a	○	—		Level 2 a	○	—
	Level 3 b	—	○		Level 2 b	—	○
ド イ ツ 語	Level 1 a	—	○	古典ギリシア語 ラテン語 イタリア語 オランダ語	Level 1 a	○	—
	Level 1 b	○	—		Level 1 b	—	○
	Level 2 a	○	—		Level 1	—	○
	Level 2 b	—	○				

注 授業 Level 1, 2, 3 は、この順で授業内容が高度になります。英語は、Level 1（初級レベル程度）は開講しません。

セミナー

科 目		開講期間	
		前期	後期
英 語	言語文化セミナー	○	○
	言語表現セミナー	○	○

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

前期：2005年4月7日(木)
～2005年7月22日(金)
後期：2005年10月3日(月)
～2006年2月3日(金)

2. 休業日

夏季休業期間：2005年8月8日(月)
～2005年9月30日(金)
冬季休業期間：2005年12月28日(水)
～2006年1月7日(土)

3. 休講日

名大祭期間：

2005年6月2日(木)午後
～6月3日(金)

大学入試センター試験実施準備：

2006年1月20日(金) (予定)

4. 定期試験期間

前期：2005年7月25日(月)～8月5日(金)

後期：2006年2月6日(月)～2月17日(金)

5. 授業時間帯

第1時限 8:45～10:15

第2時限 10:30～12:00

第3時限 13:00～14:30

第4時限 14:45～16:15

第5時限 16:30～18:00

III. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生は受講できません。

受講手続きをするに当たっては、本冊子6ページ以降の授業時間割表の備考欄の記述に注意して下さい。

IV. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、国際言語文化研究科事務室で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出して下さい。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

V. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関することは、国際言語文化研究科棟1階掲示板(玄関左側)で通知します。

VI. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部長あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

VII. 受講申込み手続き

1. 外国語特別研修コース

英語

①申込受付場所

国際言語文化研究科事務室窓口(4ペー

ジの配置図を参照)

②申込期間及び時間

期間：2005年3月31日(木)・4月1日(金)

時間：9:30～12:00

13:00～17:00

* 申込期間以後は受け付けませんので注意して下さい。

③申込方法

「受講申込みカード」は国際言語文化研究科棟1階(4ページの配置図を参照)においてあります。

学部学生・大学院生・研究生等及び職員用：黄色(三連)

受講希望者は、該当するカードに必要な事項を記入し、受付に提出して下さい。
その際「本人及び教員保存用」のカードの紙片を受領して下さい。

④受講手続き

1. 「英語 Level 2」及び「英語 Level 3」の受講を希望する人はすべて、TOEIC公開試験あるいはその模擬問題集によって得た自分の英語力の点数を、受講申請の際に記入せねばなりません。TOEIC受験、あるいはその模擬問題集の採点は各自で行って下さい。

1) その模擬問題集の例として、以下のものがこれまでに出版されています。

(1) 『TOEIC公式ガイド&問題集 Vol.2』(国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC運営委員会、2002年) 2,800円

(2) 『TOEICテストまるごと模試』(アルク、2002年) 1,200円

(3) 『TOEICテスト完全攻略』(CD-ROM・Win対応)(旺文社、2002年) 6,800円

2) 受講希望者は、TOEICあるいはその模擬問題集によって知り得た自分の英語力のレベルに応じて、「英語 Level 2」あるいは「英語 Level 3」のどちらかを選択し、申請しなければなりません。その際、次の目安を参考にしてください。

英語 Level 2 受講者の英語力の目安：
TOEIC 650点以上～749点以下
英語 Level 3 受講者の英語力の目安：
TOEIC 750点以上

2. 受講申込みの詳細は以下の通りです。

● 申込み方法：受講希望者は、「受講申込みカード」に必要事項を記入の上、4月1日（金）17時までに国際言語文化研究科事務室窓口に提出してください。受領した本人保存用および教員保存用の紙片に記載してある受講受付番号が事務手続きに必要となりますので、必ずその紙片を第1週目の授業時に持参してください。

● カード記入事項：「受講申込みカード」には、記入する必要がある事柄として、次の項目が含まれています。

(1) TOEICの点数。TOEICの模擬問題集を使って自己採点した結果でも可。

(2) 希望する級。英語 Level 2 あるいは英語 Level 3 のどちらか。

(3) 希望するクラス。(2)で決めたカテゴリーの中から受講したいクラスを3つまで。

3. 受講可能人数を超える場合は提出された「受講申込みカード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します（決定後の問い合わせには応じません）。ただし、定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

4. 各授業の受講調整の結果は、4月6日（水）8時30分（予定）までに国際言語文化研究科棟1階提示板（玄関左側）に掲示されます。

5. 第1週の授業を無断で欠席した学生は、受講放棄とみなしますのでご注意ください。この件に関する学生からの質問などに対して、国際言語文化研究科事務室は対応しません。

6. 第1週目の授業時に担当教員に教員保存用紙片を渡してください。なお決定された授業からの辞退は認められません。

7. 外国語特別研修コースの英語は、級を問わず一期にクラスしか受講できません。

英語以外の外国語

全学向け授業としては、第2週〔4月14日（木）、15日（金）、19日（火）、20日（水）〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

学部学生、大学院生、研究生等及び職員は、下記の1)から3)に従って配付場所で「受講申込みカード」を受け取り、第1回の授業時に担当教員に教員保存用「受講票」を提出して下さい。なお、4)の受講者登録手続きも必ず行って下さい。

1) 受講申込みカード配付場所

国際言語文化研究科棟1階（4ページの配置図を参照）

2) 配付期間及び配付時間

期 間：2005年4月14日（木）～

4月20日（水）

時 間：平日 9：30～17：00

3) 配付カード

青色（三連）

4) 受講登録手続き

授業時の受講調整後、受講が許可された授業科目について、「受講申込みカード」のうち受講申込票（事務室保存用）を国際言語文化研究科事務室に提出して下さい（締切厳守）。

期 間：2005年4月14日（木）～

4月21日（水）

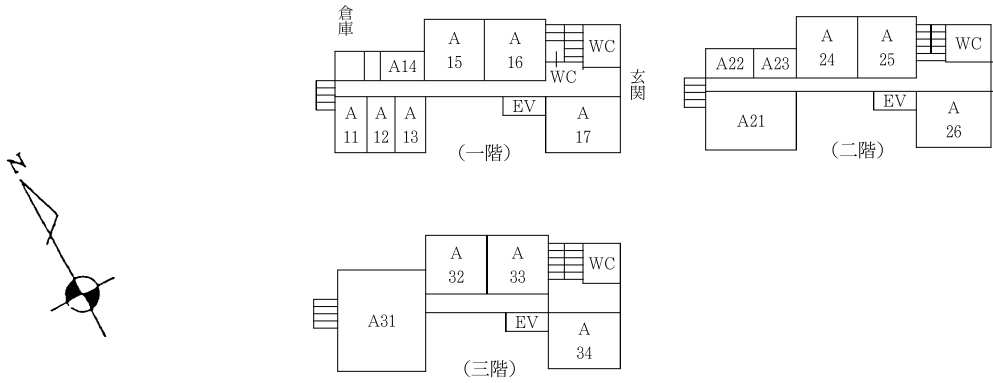
時 間：平日 9：30～17：00

2. セミナー

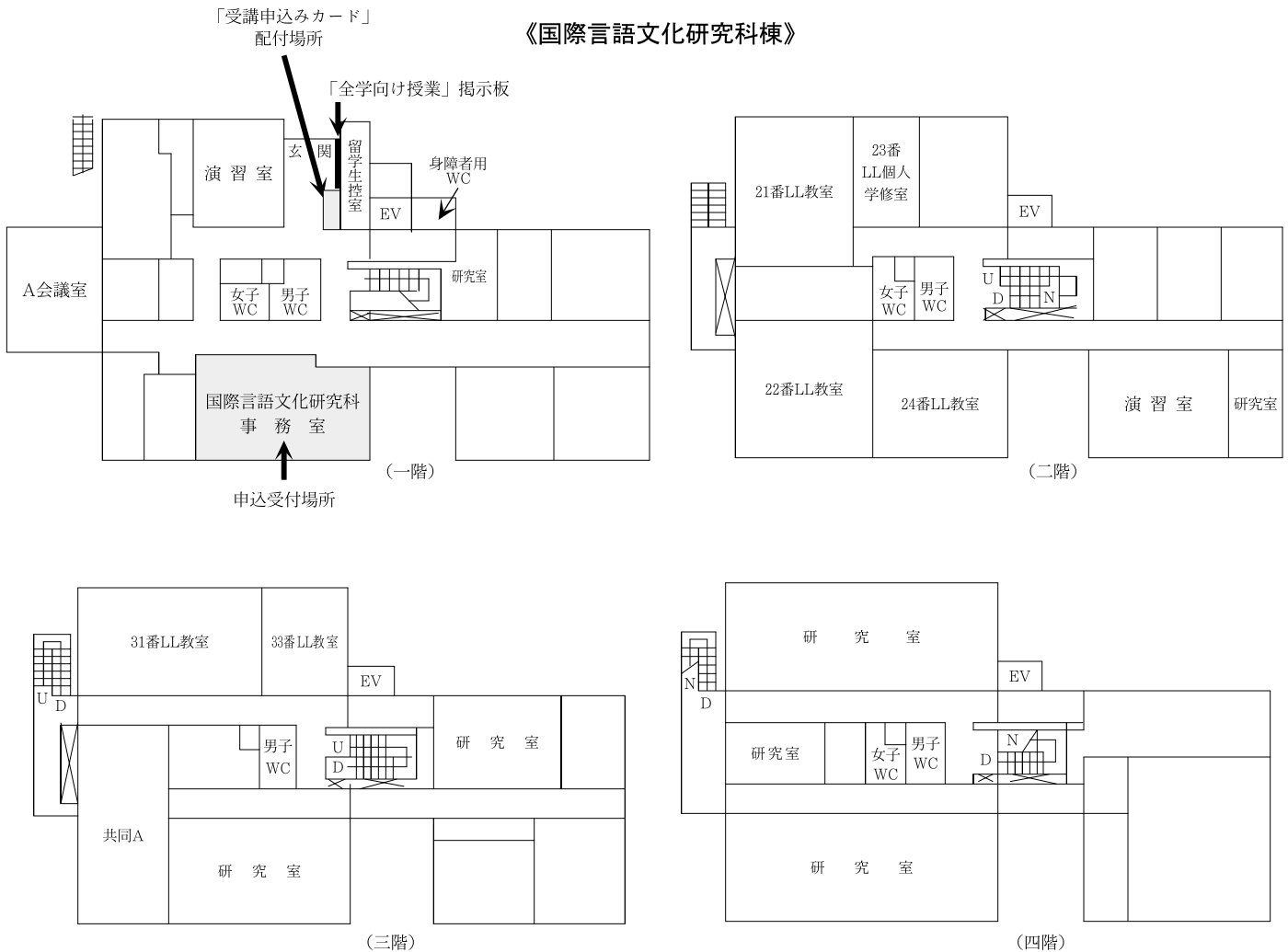
外国語特別研修コースの「英語以外の外国語」受講申込方法に準じ手続きを行って下さい。なお、全学向け授業（英語セミナー）は、第2週〔4月14日（木）、15日（金）、18日（月）、19日（火）、20日（水）〕から開講します。

全学教育棟及び国際言語文化研究科棟教室配置図

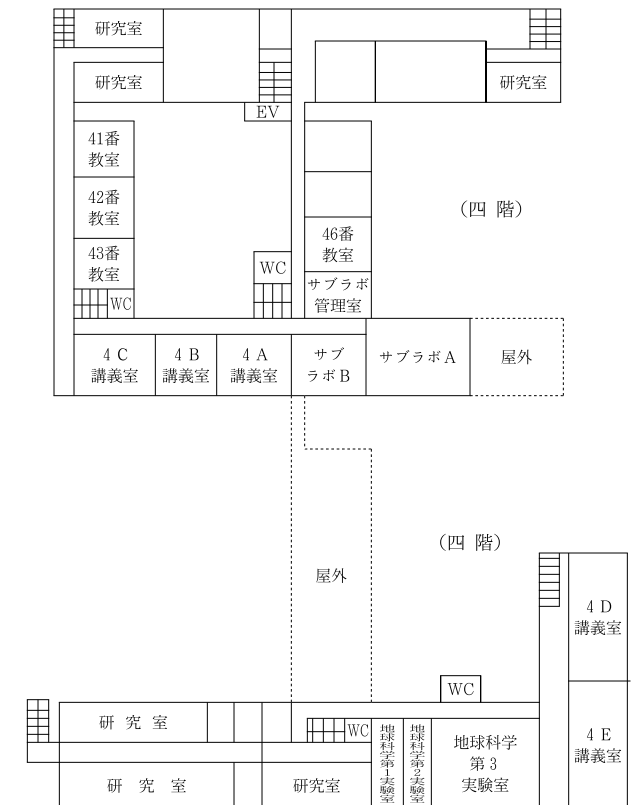
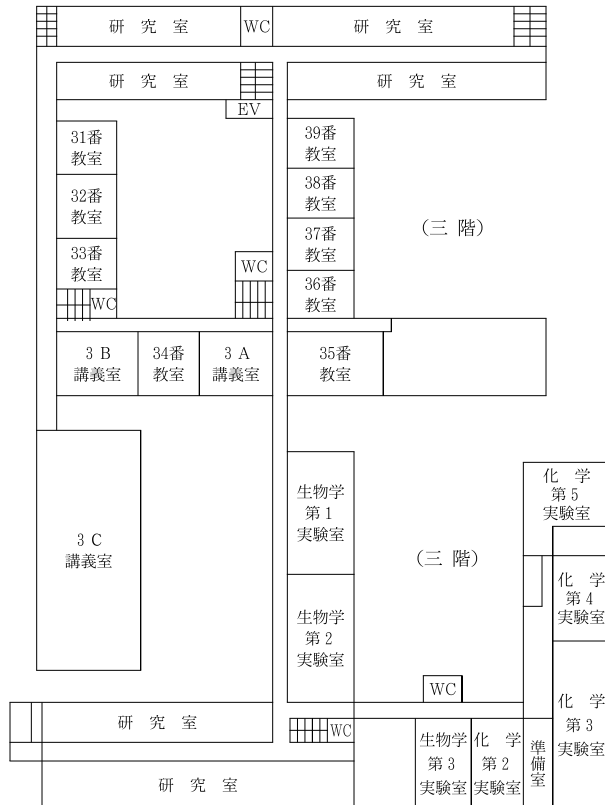
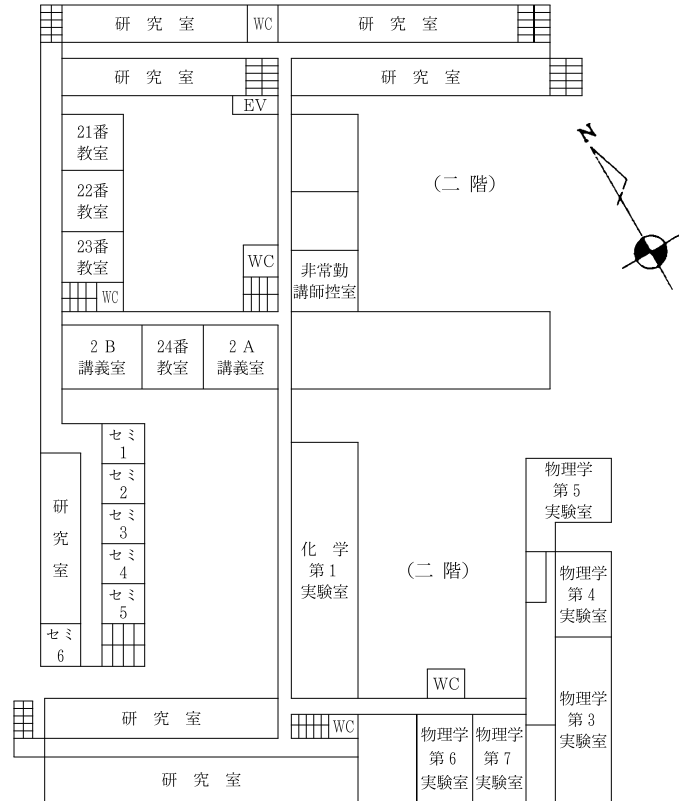
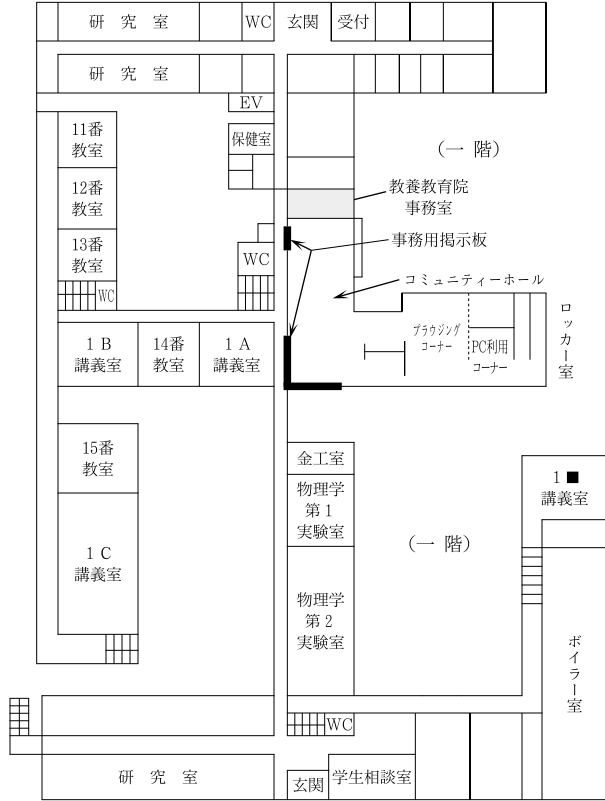
《全学教育棟 A館》



《国際言語文化研究科棟》



《全学教育棟本館（情報文化学部）》



「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記号	担 当 教 員	曜日(時限)	教 室	定員	備 考
英 語	英語 Level 2a	A	D.Ramsey	月(3)	A13	20	
	英語 Level 2a	B	M.C.Weeks	火(2)	15番	20	
	英語 Level 2a	C	Chua Liang	火(4)	語22	20	
	英語 Level 2a	D	Chua Liang	水(2)	語33	20	
	英語 Level 2a	E	D.Ramsey	木(2)	21番	20	
	英語 Level 2a	F	M.C.Weeks	木(3)	43番	20	
	英語 Level 2a	G	E.T.W.Haig	金(3)	語33	20	
	英語 Level 2a	H	E.T.W.Haig	金(4)	語33	20	
	英語 Level 3a	I	E.T.W.Haig	水(3)	A15	20	
	英語 Level 3a	J	D. Ramsey	水(4)	語21	20	
	英語 Level 3a	K	Chua Liang	木(4)	語24	20	
	英語 Level 3a	L	M.C.Weeks	金(3)	A16	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		有 川 貫太郎	木(4)	語22	20	前年度後期から継続
	ドイツ語 Level 2a		J. Peters	水(3)	A16	20	後期に継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1a		松 本 伊瑳子	火(5)	語21	20	後期に継続
	フランス語 Level 2a		J.L.Pagès	水(4)	15番	20	後期に継続
	フランス語 Level 2a		鶴 巻 泉 子	火(5)	語22	20	
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1a		Saveliev I.	火(2)	語31	20	後期に継続
	ロシア語 Level 2a		山崎 タチアナ	金(3)	語24	20	後期に継続
中 国 語	中国語 Level 1a		加 納 光	水(1)	37番	20	後期に継続
	中国語 Level 2a		劉 欣	水(3)	A17	20	後期に継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1a		A. Villalobos	水(4)	語22	20	後期に継続
	スペイン語 Level 1a		宮 下 克 子	水(4)	11番	20	
	スペイン語 Level 2a		川 田 玲 子	木(4)	語33	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1a		李 正 子	木(4)	1C講	20	後期に継続
	朝鮮・韓国語 Level 2a		鄭 芝 淑	火(4)	1C講	20	後期に継続
古典ギリシア語	古典ギリシア語 Level 1a		有 川 貫太郎	木(1)	32番	20	後期に継続
ポ ル ト ガ ル 語	ポルトガル語 Level 1a		兼安シルビア典子	木(2)	A12	20	後期に継続
	ポルトガル語 Level 2a		水 戸 博 之	木(4)	語21	20	後期に継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1a		水 戸 博 之	金(2)	語22	20	後期に継続
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1a		C. Galisch	水(4)	語24	20	前期から継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担 当 教 員	曜日(時限)	教 室	定員	備 考
英 語	言語文化セミナー	D. Ramsey	月(5)	語22	20	全学部
	言語文化セミナー	上 原 早 苗	木(2)	13番	20	全学部
	言語文化セミナー	Chua Liang	木(3)	語24	20	全学部
	言語表現セミナー	滝 沢 直 宏	水(2)	語31	20	全学部
	言語表現セミナー	長 畑 明 利	金(2)	語21	20	全学部
	言語表現セミナー	杉 浦 正 利	火(3)	情メ* 端末室C	20	全学部

*「情メ」は情報メディア教育センター

「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	英語 Level 2b	A	Chua Liang	火(2)	語22	20	
	英語 Level 2b	B	M.C.Weeks	火(3)	11番	20	
	英語 Level 2b	C	M.C.Weeks	火(4)	11番	20	
	英語 Level 2b	D	Chua Liang	水(1)	語21	20	
	英語 Level 2b	E	E.T.W.Haig	水(3)	41番	20	
	英語 Level 2b	F	D. Ramsey	水(4)	33番	20	
	英語 Level 2b	G	D. Ramsey	木(2)	A32	20	
	英語 Level 3b	H	D. Ramsey	水(2)	33番	20	
	英語 Level 3b	I	M.C.Weeks	木(2)	A33	20	
	英語 Level 3b	J	Chua Liang	木(3)	語33	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1a		西 川 智 之	木(4)	A34	20	次年度に継続
	ドイツ語 Level 2b		J. Peters	火(3)	21番	20	前期から継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1b		藤 村 逸 子	木(5)	語24	20	前期から継続
	フランス語 Level 2b		未 定	火(5)	語21	20	前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b		郡 敏 子	火(2)	語33	20	前期から継続
	ロシア語 Level 2b		山崎 タチアナ	金(3)	A25	20	前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b		加 納 光	水(2)	37番	20	前期から継続
	中国語 Level 2b		前 田 光 子	月(3)	語22	20	前期から継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b		A. Villalobos	水(4)	語21	20	前期から継続
	スペイン語 Level 2b		西 村 秀 人	木(4)	語33	20	
朝 鮮・韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		洪 順 愛	金(3)	A26	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		鄭 芝 淑	火(4)	42番	20	前期から継続
古典ギリシア語	古典ギリシア語 Level 1b		有 川 貫太郎	木(1)	語21	20	前期から継続
ポ ル ト ガ ル 語	ポルトガル語 Level 1b		兼安シルビア典子	木(2)	語33	20	前期から継続
	ポルトガル語 Level 2b		水 戸 博 之	木(4)	語21	20	前期から継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1b		水 戸 博 之	金(2)	語33	20	前期から継続
オ ラ ン ダ 語	オランダ語 Level 1		小 坂 光 一	水(2)	語33	20	
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b		C. Galisch	水(4)	語22	20	前期から継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担当教員	曜日(時限)	教 室	定員	備 考
英 語	言語文化セミナー	吉 村 正 和	月(3)	語33	20	全学部
	言語文化セミナー	長 畑 明 利	水(3)	42番	20	全学部
	言語文化セミナー	福 田 眞 人	木(5)	語21	20	全学部
	言語表現セミナー	滝 沢 直 宏	月(3)	語31	20	全学部
	言語表現セミナー	長 畑 明 利	金(2)	39番	20	全学部
	言語表現セミナー	杉 浦 正 利	火(3)	サブラボB	20	全学部

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	D. Ramsey	月(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course aims to develop listening, speaking, and critical thinking skills. While some reading will be required to provide students with the critical tools necessary to use in their discussions, emphasis will be on interactive communication.</p> <p>履修条件・関連する科目等 An eagerness to learn, to think deeply about cultural values, and to share ideas.</p> <p>授業内容 This fun and popular course will introduce students to popular cultural analysis. We will consider art, advertisements, toys, clothes, and other cultural products and interpret the meanings and values that these products convey within a social context.</p> <p>The first part of the semester will be spent developing critical thinking skills, with students preparing some readings and asking questions in class. We will then look at reproductions of paintings and analyze the meaning of these paintings in terms of social values such as race, class, and gender. We will then look at advertisements in magazines and newspapers, applying the same critical skills that we applied to painting. We will then look at toys, clothes, and other products and similarly analyze and interpret the social values or cultural messages that they contain.</p> <p>Some activities (especially in the beginning of the semester) will be done together as a class, but most activities will involve students working in small discussion groups.</p> <p>成績評価方法 Regular attendance, active class participation, and report.</p> <p>参考書 Dictionary.</p> <p>注意事項 Students will be responsible for bringing in objects and articles appropriate to the topics discussed.</p>
英 語 Level 2a	M.C. Weeks	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main aim here is simply to help students improve their general conversation skills and confidence so that they may speak long, clearly, effectively, and enjoyably in English in any situation. Development of listening and of writing skills is also a goal of this course.</p> <p>授業内容 Much of each class will be spent in conversation in pairs, groups and with the teacher to maximize the amount of communication we do. Pairings and groupings will change with each class, so that we can meet and talk with a wide range of people, keeping classes interesting and building our confidence for communicating in a variety of situations in the future. We will examine conversation techniques and language structures for numerous common situations, including meeting people, informal discussion, decision-making, problem-solving, sharing opinions, interviewing, expressing feelings, plans and hopes. Because it can be difficult to find situations for English language conversation in our daily lives, the emphasis here will be on you practicing, that is, talking and more talking. We will do some work on our pronunciation to make our speech more easily understood and so help you gain confidence and avoid embarrassment in conversation.</p> <p>There will be some short, intensive listening exercises, often through video, to give us examples of effective conversation, common language structures and vocabulary. Students may work individually with the teacher on other specific skills such as writing to suit their needs.</p> <p>成績評価方法 Participation 30%, final conversation 30% report 20%, vocabulary record 10%, listening test 10%</p> <p>教科書 Nil. All materials supplied by teacher</p> <p>参考書 A good dictionary, preferably English-English</p> <p>注意事項 English is the language of the classroom. Students more than 15 minutes late will be marked absent.</p>
英 語 Level 2a	Chua Liang	火(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to develop listening skills and build fluency when conversing and when addressing an audience. The focus is on</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	Chua Liang	火(4)	20	<p>equipping students with skills and practice not just to speak but more importantly to converse and answer questions at a presentation. The goal is to help students become confident when speaking English.</p> <p>授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will discuss communication techniques and strategies; help students find the right words for their expressions; elaborate on points of grammar; as well as help students refine their pronunciation. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Students will practise speaking English in different scenarios. They will learn how to converse, how to seek information, how to present information, how to tell others about themselves, how to ask about others, how to use language in difficult situations and so on. The emphasis is on communicative competence and on preparation for situations which students are likely to find themselves in. It is hoped that through practice, students will grow in their confidence and use their knowledge of English effectively. The materials and topics used in class are up-to-date, relevant and interesting to young people. Students will also analyse, discuss and present materials in English. Presenters are expected to answer questions from the audience.</p> <p>成績評価方法 Attendance, participation, homework and an examination.</p> <p>参考書 Practical English Usage, Michael Swan, Oxford University Press.</p>
英 語 Level 2a	Chua Liang	水(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>The purpose of this course is to develop listening skills and build fluency when conversing and when addressing an audience. The focus is on equipping students with skills and practice not just to speak but more importantly to converse and answer questions at a presentation. The goal is to help students become confident when speaking English.</p> <p>授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will discuss communication techniques and strategies; help students find the right words for their expressions; elaborate on points of grammar; as well as help students refine their pronunciation. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Students will practise speaking English in different scenarios. They will learn how to converse, how to seek information, how to present information, how to tell others about themselves, how to ask about others, how to use language in difficult situations and so on. The emphasis is on communicative competence and on preparation for situations which students are likely to find themselves in. It is hoped that through practice, students will grow in their confidence and use their knowledge of English effectively. The materials and topics used in class are up-to-date, relevant and interesting to young people. Students will also analyse, discuss and present materials in English. Presenters are expected to answer questions from the audience.</p> <p>成績評価方法 Attendance, participation, homework and an examination.</p> <p>参考書 Practical English Usage, Michael Swan, Oxford University Press.</p>
英 語 Level 2a	D.Ramsey	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>This course aims to develop listening, speaking, and critical thinking skills. While some reading will be required to provide students with the critical tools necessary to use in their discussions, emphasis will be on interactive communication.</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	D.Ramsey	木(2)	20	<p>履修条件・関連する科目等 An eagerness to learn, to think deeply about cultural values, and to share ideas.</p> <p>授業内容 This fun and popular course will introduce students to popular cultural analysis. We will consider art, advertisements, toys, clothes, and other cultural products and interpret the meanings and values that these products convey within a social context.</p> <p>The first part of the semester will be spent developing critical thinking skills, with students preparing some readings and asking questions in class. We will then look at reproductions of paintings and analyze the meaning of these paintings in terms of social values such as race, class, and gender. We will then look at advertisements in magazines and newspapers, applying the same critical skills that we applied to painting. We will then look at toys, clothes, and other products and similarly analyze and interpret the social values or cultural messages that they contain.</p> <p>Some activities (especially in the beginning of the semester) will be done together as a class, but most activities will involve students working in small discussion groups.</p> <p>成績評価方法 Regular attendance, active class participation, and report.</p> <p>参考書 Dictionary.</p> <p>注意事項 Students will be responsible for bringing in objects and articles appropriate to the topics discussed.</p>
英 語 Level 2a	M.C.Weeks	木(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The primary aim is to provide a learning environment in which students can develop confidence in using English for communication while extending cultural knowledge by exploring various forms of popular culture today and their changes over the past few decades. Expanding vocabulary and improving listening ability are also important goals of the course.</p> <p>授業内容 Discussions and other activities will be based on some of the most popular aspects of modern English-speaking cultures, particularly as they are represented in the media, from the internet and popular music to films and TV.</p> <p>A variety of classroom arrangements will be used to allow practice in different communication situations with the widest possible range of communication partners. However, each arrangement will place the students, rather than the teacher, at the center of communication and so maximize the amount of actual English speaking done in class.</p> <p>Class activities include video/DVD listening exercises, interviews, information exchanges, data interpretation, vocabulary building exercises, cooperative problem solving. We will also play language games, especially as warm-up exercises. The teacher will provide useful language structures where required in order to assist the students in increasing their conversational range.</p> <p>As well as the class work, there will be some homework, especially using the internet in English as a source of cultural information and new vocabulary. Students will build a record of new vocabulary found on the internet and through other sources and will occasionally share this with classmates. Help with writing through feedback will be provided by the teacher through a report and individual assistance as requested by the students themselves.</p> <p>成績評価方法 Participation 30%, conversation test 30%, report 20% listening test 10%, vocabulary record 10%</p> <p>教科書 nil. All materials supplied by teacher</p> <p>参考書 Dictionary, preferably English-English.</p> <p>注意事項 English is the language of the classroom.</p>
英 語 Level 2a	E.T.W.Haig	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course aims to introduce students to the field of sociolinguistics known as Critical Discourse Analysis and to help them improve their</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	E.T.W.Haig	金(3)	20	<p>academic reading and critical thinking skills. It will encourage students to look at language in a new and critical way.</p> <p>授業内容 Critical Discourse Analysis (CDA) is a new interdisciplinary approach to the study of social problems such as globalisation, the environment, gender issues and racism. As one of the most radical (and controversial) fields in the humanities, CDA differs from conventional sociolinguistic approaches to social issues in that it goes beyond mere description of textual phenomena to the interpretation and evaluation of the complex relationships between language, discourse, ideology and power. The course will consist of four parts. First, we will consider the theoretical basis of CDA, locating this new approach in relation to earlier and alternative approaches. Second, students will be introduced to some of the main methods of CDA. Third, working in groups, students will use CDA to conduct a brief investigation into an issue of their choice, concluding with a group presentation. Finally, in the light of their experience, students will be asked to reflect critically on the strengths and weaknesses of CDA itself.</p> <p>成績評価方法 Attendance, active participation, group presentation, final report.</p> <p>教科書 None. Materials to be provided by the instructor.</p>
英 語 Level 2a	E.T.W.Haig	金(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい To develop students' confidence and spontaneity in spoken interaction. A further aim is to allow students the chance to participate in a form of drama which most of them will never have experienced before: improvisation.</p> <p>授業内容 This course is based on improvised drama games. Students work in teams to perform short improvised scenes in English. These scenes do not require any memorization of scripts but rely instead on students' imaginations. The aim is to create a cooperative and supportive environment in which students develop their ability to work with whatever communication resources they possess. This is not an academic content-based course and there will be no discussion of 'issues' or attention paid to accuracy. The focus is firmly fixed on fluency, fantasy and fun.</p> <p>During the first few lessons of the course, the basic ideas behind improvised drama will be introduced to the students as they work in small groups to invent their own skits and sketches. As they develop their improvisation abilities, students will be given a number of progressively challenging improvisation games and tasks to perform. Towards the end of the course students will be introduced to the exciting improvised drama game format known as Theatre Sports. This is a lively team game in which teams of actors compete with each other to perform various kinds of improvisations.</p> <p>成績評価方法 Regularity of attendance and degree of active participation</p> <p>注意事項 Students will be expected to expect the unexpected!</p>
英 語 Level 3a	E.T.W.Haig	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい To develop students' confidence and spontaneity in spoken interaction and to introduce students to an exciting form of drama known as improvisation and also to the work of some outstanding contemporary British dramatists.</p> <p>履修条件・関連する科目等 This is not an academic content-based course and there will be little or no discussion of 'issues' or attention paid to accuracy. The focus is firmly fixed on fluency and fun.</p> <p>授業内容 This course will begin by briefly reviewing some of the improvised drama games practiced in this teacher's intermediate course. In this part of the course, students will work in teams to perform short improvised scenes in English. These scenes do not require any memorization of scripts but rely instead on the interaction between students' linguistic</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 3a	E.T.W.Haig	水(3)	20	resources and their imaginations. The aim is to create a cooperative and supportive environment in which students develop their ability to work creatively with whatever communication resources they possess. Once the above target has been achieved students will move on to practicing what is known as 'readers theatre'. In this part of the course, students will perform short plays or scenes from longer plays by contemporary British playwrights. Here too there will be no requirement to memorize scripts and the emphasis will be on bringing to life the words on the page in as entertaining and dynamic a way as possible. Some of the playwrights whose work we are likely to study are Harold Pinter, Tom Stoppard, and Alan Ayckbourn. 成績評価方法 Regularity of attendance and degree of active participation 注意事項 Students will be expected to expect the unexpected!
英 語 Level 3a	D.Ramsey	水(4)	20	本講義の目的およびねらい This advanced course will develop listening and speaking skills through drama. Vocabulary, fluency, and pronunciation will be especially improved through this course. Students will also develop their confidence in speaking before a group of people. 履修条件・関連する科目等 An eagerness for active participation. 授業内容 We will read aloud and perform dramas in class, as well as listen to and watch performances on audio and video tape. Students should read over assigned pages and prepare questions and comments beforehand, so that class time can be spent asking and answering questions, and reading aloud and performing the plays. Some class time in the beginning will be dedicated to answering grammatical questions and providing a deeper understanding of the ideas and vocabulary presented. While comprehension will be developed through some etymological explanations (word histories--focusing on Latin and Greek origins), we will spend most of our time exploring the meaning of the plays and actually performing them to develop both critical thinking as well as fluency. 成績評価方法 Regular attendance and active class participation. 教科書 To be announced. 参考書 Dictionary. 注意事項 This class requires an outgoing personality.
英 語 Level 3a	Chua Liang	木(4)	20	本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to refine listening and speaking skills, as well as encourage analytical and critical thinking. Students will be asked to express their ideas and opinions. Accuracy is stressed. The goal is to help students become articulate. 授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will help students express their thoughts accurately in English; help students find the right words for the ideas and opinions they want to communicate; ensure that the sentences produced are grammatically sound and easy to understand; and make sure that they speak clearly. Students are trained to be articulate individuals. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Through the study of articles from newspapers and magazines (on a variety of topics including current affairs and those of students' choices), students will analyse and discuss their contents. They will also present materials as well as their views and opinions to the class and answer questions from the audience. Students will also prepare and debate with each other over a variety of controversial issues. It is hoped that they will be able to use English with ease and confidence in different contexts. 成績評価方法 Attendance, participation, homework and an examin-

授業科目	担当教員	曜日・ 時限		授 業 内 容
英 語 Level 3a	Chua Liang	木(4)	20	ation. 参考書 Practical English Usage, Michael Swan, Oxford University Press.
英 語 Level 3a	M.C.Weeks	金(3)		<p>本講義の目的およびねらい The aim is to help advanced level students take their practical English skills to a higher level, for use in work, further study and life abroad. While giving students opportunities to improve their language skills in general, emphasis is placed on the ability to comprehend and communicate information and ideas at a sophisticated level, including explaining data and trends, negotiating and team problem solving. Furthermore, it is hoped that our cultural and cross-cultural understanding will be enhanced.</p> <p>授業内容 In order to maximize communication opportunities, students are usually organized into small groups and pairs, these being changed randomly and frequently in order to ensure a lively atmosphere and diverse communication experiences. While the subject matter is sometimes quite serious, this arrangement should help keep an informal, relaxed and enjoyable atmosphere centered on the learning desires and needs of each student.</p> <p>The primary subject matter of discussions in this class is social issues, including relationships, marriage, community, health, wealth, work, education, life philosophy. In each class, a subject will be introduced, often with examples from the media, especially television and film. These will provide useful listening practice as well as serving to stimulate discussion of issues.</p> <p>Various activities will then be undertaken based on the chosen subject and viewing. Among these are: interviews, informal debates, co-operative problem-solving exercises, table and graph description and explanation. Help with appropriate language structures for each type of communication context will be supplied by the teacher.</p> <p>The class activities will be supplemented by some homework, most often involving internet searches in English, and an ongoing collection of vocabulary by each student according to their own interests and future language needs.</p> <p>成績評価方法 Participation 30%, conversation exam 30%, report 20% listening test 10%, vocabulary record 10%</p> <p>教科書 nil. All materials provided by teacher.</p> <p>参考書 English-English dictionary</p> <p>注意事項 English is the language of the classroom.</p>
ドイ ツ 語 Level 1b	有川貫太郎	木(4)	20	<p>作年度後期に開始された、ドイツ語を初めて学ぶ人のための授業。週1コマ、2期連続で完結し、今期はその後半になります。</p> <p>教材は、様々な表現と文法をバランスよく修得し、話すとともに、読んだり書いたりするための基礎を身につける、というコンセプトで作られています。授業では、対話練習をはじめ、練習に積極的に取り組んでください。</p> <p>履修条件・関連する科目等 前年度後期にこの授業（ドイツ語Level 1a）を受講した人が優先される。余裕があればそれ以外の参加も可能です。</p> <p>授業内容 基礎的文法事項の後半を学んで、1年間のコースの完結とします。前半同様、授業の構成はほぼ次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的な会話文をおぼえる 2) パートナー練習によって身近な表現を実際に使えるように練習する 3) 聞き取り練習によって文法を確認し、応用力を養う 4) 練習問題によって辞書の使用法に慣れるとともに新しい文の意味を読み解く訓練をする。 <p>発音はどのレベルになっても語学の基本であるので、常に重視します。音声教材によく耳をすまして、自然な発音ができるよう、十分練習してください。</p> <p>成績評価方法 平常点および定期試験によって総合的に評価する。</p> <p>教科書 清水/中島「新版アクティブ・ドイツ語 Aut Deutsch」(同学社)</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ドイツ語 Level 1b	有川貫太郎	木(4)	20	参考書 独和辞典（各種。とくに指定はしない）
ドイツ語 Level 2a	J.Peters	水(3)	20	本講義の目的およびねらい このコースは「聞く・話す」ことと「読み・書く」能力を養成する。 履修条件・関連する科目等 二年時修了程度のドイツ語能力を前提とします。 授業内容 Die Anwendung grundlegender und wichtiger grammatischer Strukturen soll gefestigt werden. Darueberhinaus werden kompliziertere grammatische Strukturen behandelt, die einem bedeutende kommunikative Moeglichkeiten an die Hand geben oder einfach nur eine groessere Variabilitaet im Ausdruck ermoeglichen. 成績評価方法 平常点（宿題、積極的な授業参加）、小テスト、学期末の試験 教科書 Passwort 3, Kurs- und Uebungsbuch (Klett)
フランス語 Level 1a	松本伊瑛子	火(5)	20	本講義の目的およびねらい フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。 履修条件・関連する科目等 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。 授業内容 週一度の授業で一年間かけてフランス語の基礎を修得するクラス。後期木曜5限の授業に接続する。フランス語の基礎の習得のヤマは、なんと言っても動詞を使いこなすことにある。ふつう、フランス語というと発音の難しさが強調されるが、母語のようになろうとする人は別として、意思疎通可能な範囲での発音はさほど難しくない。この授業にきちんとついてくれば、一年後には確実に、フランス語の文章を読んだり、フランス語会話がそこそこできたりするまでになる。がんばろう。 成績評価方法 平常点30点と筆記試験70点。 教科書 大木、バルトネ、ラローズ著『新CDフランス語文法』（朝日出版社） 参考書 仏和辞書については最初の授業で指示する。それまでは購入しないように。 注意事項 定員は20名。
フランス語 Level 2a	J.L.Pagès	水(4)	20	本講義の目的およびねらい Il s'agit de debattre, avec un regard croise, de la presence japonaise en France et de la presence francaise au Japon : les entreprises, les manifestations culturelles (arts, spectacles vivants), les echanges universitaires et l'education, etc. L'exposition universelle 2005 en Aichi pourra faire egalement l'objet d'une visite des pavillons en langue francaise et une comparaison avec l'exposition universelle de Paris en 1900. 履修条件・関連する科目等 全学部を対象とする。 授業内容 Le cours s'adapte egalement aux besoins des etudiants : recherche du travail dans une entreprise qui utilise le francais, depart et sejour en France pour les laureats de la bourse de la Fondation Renault, etc. A partir de l'ecoute de differents supports audio-visuels, ce cours de conversation aura aussi un objectif phonetique pour l'amelioration de la prononciation. Il est egalement demande que l'ecoute du francais en dehors des cours soit possible sur Internet avec les radios numeriques et les informations de televisiones francophones accessibles sur Internet (Radio TV Canada, TF1, Canal +, ...). NOTATION : L'evaluation est repartie par tiers entre l'assidueite et la participation en classe, avec notamment un expose sur la thematique de la presence japonaise en France et /ou de la presence francaise au Japon, des exercices d'ecoute et de comprehension a effectuer regulierement chez soi et, en fin de semestre, l'enregistrement sur cassette audio d'une sequence de 12 minutes environ choisie en accord avec l'etudiant(e) et le professeur.

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
フランス語 Level 2a	J.L.Pagès	水(4)	20	<p>教科書 Emissions de radios numeriques et informations televisees, sequences et reportages videos ; articles de presse et textes photocopies.</p> <p>注意事項 授業での口頭発表や学期末のカセット提出などに注意（授業内容参照）。</p>
フランス語 Level 2a	鶴 卷 泉 子	火(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい フランス語基礎文法を既に習得した学生を対象とし、フランス語の文章の読解能力、フランス語による表現能力の向上をはかる。また、フランス語圏の社会・文化について一層深い理解を獲得できるようにする。</p> <p>授業内容 辞書を用いて読みこなせるような、比較的平易なフランス語の新聞・雑誌記事などを使用し、現代フランス・国際的事象を題材とした読解をしていく。主に政治・経済・社会分野が中心となる予定である。</p> <p>現代社会・国際情勢に関連した語彙を増やすと共に、単にテキストを訳すだけではなく、そこから出発して意見を表現するための簡単な作文の練習や、基礎文法の確認、よく使われる表現の確認、聞き取りの練習などにも力を入れる。また報道記事を読むことは単に起こった「事実」の確認をすることではなく、その事件のメディアによる「取り上げ方」「分析の仕方」の特性に注目することでもある。日本のメディアにはEU、アラブ世界、ブラック・アフリカ、中・南米他の地域の視点が取り入れられることが比較的少ないが、フランスのメディア（特にルモンド紙、ルモンド・ディプロマティック紙）は国際ニュースを大変重視すると共に、それらの地域にも気を配りながらよりグローバルな視点を探ろうとしているところに大きな特徴がある。別の見方があり得ることに目を向けながら、批判的に記事を読み、自分自身の視座を発見するための手助けとしてほしい。</p> <p>学期の前半期には主に基礎文法と使用頻度の高い語彙確認に力を入れ、かなり時間をかけて、ゆっくりとテキストを読み進む予定である。中間・後半期にかけては読解のスピードを徐々に上げ、短いテキストをなるべく数多く読みこなしていく。</p> <p>成績評価方法 平常点（授業への積極的な参加・レポート提出）30%、定期試験70%。</p> <p>教科書 その都度プリントを配布する。特にルモンド紙、リベラシオン紙、クリエ・アンテルナショナル紙をはじめとするフランスの新聞や、テレビ・ニュースなどを「おこしたもの」をテキストとする。</p>
ロシア語 Level 1a	Saveliev I.	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行う。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することによりロシア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一步とする。目標は「ロシア語に触れる」である。</p> <p>授業内容 ロシア語の基礎を学ぶための科目で基礎文法の学習を主眼とする。さらにそれに加えて、ロシアの文化・現実も覗いてみたい。</p> <p>授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字と発音（1） 2. アクセントと基本的な平叙文と疑問文（1） 3. 文字と発音（2）、基本的な平叙文と疑問文（2） 4. 名詞の性 5. 文字と発音（3）、動詞の現在人称変化（1） 6. 子音の同化、アルファベット 7. 名詞の複数形と正書法の規則 8. 所有代名詞と疑問代名詞 9. 名詞の格と指示代名詞 10. 形容詞の性・数の変化 11. 動詞の現在人称変化（2） 12. 前置格と前置詞 13. 動詞の過去形、生格 14. 所有の表現とその否定 15. 対格、活動体と不活動体 <p>成績評価方法 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。</p> <p>教科書 佐々木照央「速修ロシア語」（白水社）。</p> <p>参考書 授業中に指示する。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ロシア語 Level 1a	Saveliev I.	火(2)	20	注意事項 音読と辞書引きは不可欠。
ロシア語 Level 2a	山崎 タチアナ	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい ロシア語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習うロシア語から使うロシア語」を指向する科目である。さらに高度な文法知識を得ると同時に、生のロシア語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけロシア語を用いる。また、言語文化1あるいはロシア語Level 1に引き続き、さらにロシア語世界の理解を深める。目標は「ロシア語を活かす」である。</p> <p>授業内容 ロシア語の基本的な表現を用いた会話の練習をする。また発音の練習も行う。この授業は、初級コースを終えた学生を対象にしています。ネイティブが担当しますので、生きた会話を授業の軸足とし、90分間を積極的な質疑時間として構成します。</p> <p>ロシア語に限らず各外国語の学習に欠かせないのは、「書く」、「読む」、「話す」、「聞く」という過程ですが、この授業は、これら4つの過程を逆順にし、授業を進行していきます。</p> <p>具体的な流れは、以下のようになります。ウォーミングアップとして、毎回日付や天気をロシア語で確かめ、各生徒の昨日のこと、明日の予定などを活発に会話します。その都度、テーマに合わせた短文を読みながら文中に出てくる言い習わしや、日常使用する表現を、質疑の形態で練習します。テーマとして採用するのは、電話での会話、私の住まい、市内交通、鉄道に乗る、客を送迎する、普段の過ごし方などです。</p> <p>目標は、自分のことを相手にロシア語で正しく伝えることができるようにすることです。</p> <p>成績評価方法 評価の方法は、出席を重視すること、および試験期間内のマンツーマンでの口頭試験の2つの基準から成り立ちます。</p> <p>教科書 プリントを配布します。</p> <p>参考書 参考書は授業中に指示する。露和辞典は、「博友社ロシア語辞典」、「岩波ロシア語辞典」、「研究社露和辞典」の内から一冊を購入すること。</p> <p>注意事項 積極的に授業に参加することが望まれます。</p>
中国語 Level 1a	加納 光	水(1)	20	<p>本講義の目的およびねらい 第三外国語として、初めて中国語を学ぼうとする学習者を対象とする。</p> <p>この授業においては、中国語の発音及び基礎的文法事項を学び、今後中国語の学習を続けていくうえで必要となる基礎力の養成を目的とする。</p> <p>授業内容 この中国語Level 1aの授業では、まず各音節を、声調を伴って正確に発音できるよう指導していく。同時に文法的項目としては、名詞述語文・形容詞述語文・動詞述語文・疑問詞・量詞・否定の副詞・助動詞などを学ぶ。教科書の内容に関連して、中国の風俗・文化などを理解する。</p> <p>成績評価方法 平常点と期末試験による。</p> <p>教科書 加納光・白木通・成戸浩嗣著『ようこそ、中国語の世界へ』（白帝社）</p>
中国語 Level 2a	劉 欣	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい この授業はかなり高度な聴解力と口頭表現力など特定の運用能力にしばって行われ、受講者の専門的要請にも対応できる高度な実践的運用能力の養成を目指す。</p> <p>学習意欲が旺盛でなければ授業についていくことはできない。</p> <p>目標は「中国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中国語の初級文法を習得していること</p> <p>授業内容 中国のビデオドラマを放映しながら、そこで用いられている表現を正確に聞き取る力、また、そこで用いられている表現を応用した口頭表現力養成の練習をしていく。</p> <p>この授業は中国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし、「習う中国語から使う中国語」を指向する。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の中国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。</p> <p>したがって、口頭表現力、聴解力を養成するため、できるだけ中国語を使うようにしたい。</p> <p>言語文化I、中国語Level 1に引き続き、さらに中国語世界の理解を深めていきたい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
中国語 Level 2a	劉 欣	水(3)	20	<p>授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の授業でガイダンスを行う。 ・参考書についてはガイダンスで説明する。 ・高度な聴解力、口頭表現力の養成をめざすので、中国語の基礎的な力が身に付いていること、積極的に授業に参加することが、受講の条件である。 <p>成績評価方法 授業で説明する。 教科書 随時、プリント教材を配布する。 参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p>
スペイン語 Level 1a	A.Villalobos	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 基礎的な文法を学習しながら、平易な会話・作文練習を行い、初歩的なスペイン語能力を養っていく。 世界20カ国に及ぶスペイン語圏の社会や文化にも時折触れつつ、言語学習へのいっそうの興味を促していきたい。、</p> <p>履修条件・関連する科目等 特になし。初心者のみならずある程度の学習歴のある受講者も可。</p> <p>授業内容 まずは簡単なあいさつ表現の学習と発話練習を行い、その後はテキストに沿って人称代名詞、冠詞、動詞の活用（直説法現在形）、目的格、接続詞など、無理のないペースで文法事項を学んでいく。 「大学でスペイン語を学ぶ2名の女子学生がスペインを旅行する」という設定のテキスト内容であるため、実際に旅行した際に役立つ表現を中心に習得していくこととなる。 教科書は次のように構成されている。</p> <p>文字と発音</p> <p>第1課 機内で 第2課 空港案内所で 第3課 タクシーで 第4課 マドリードからの手紙。 第5課 ホテルで 第6課 市場で 第7課 デパートで 第8課 旅行会社で 第9課 地下鉄と闘牛場の切符売り場で コミュニケーションボードも参照。</p> <p>成績評価方法 出席態度、試験などにより総合的に判断する。 教科書 『〈改訂版〉コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）。 参考書 西和辞典。 注意事項 週1回の授業であるので、積極的な学習への取組みが求められる。</p>
スペイン語 Level 1a	宮下克子	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい スペイン語は三億人以上の人々によって話されている言語であり、国際化著しい今日の社会を舞台にめざましい活躍が期待される学生諸君にとって、これを習得することは大変に有益なことと思われる。本授業においては、スペイン語の基礎文法を学ぶと共に、日常生活や旅行等に必要簡単な会話を身につけるべく、ビデオ等の教材を用いて多角的に学習を進める。テキスト、ビデオはスペイン及びラテンアメリカ諸国に関する情報を豊富に含むものであり、その雰囲気、文化、歴史等に対する学習者の興味を喚起することは間違いない。</p> <p>履修条件・関連する科目等 特にありません。初心者を基本的に対象としますが、かつて学んだことがあるがあらためてもう一度スペイン語を学びたいという人も歓迎します。</p> <p>授業内容</p> <p>LECCIÓN 1 「空港でタクシーに乗る折の会話」及び、母音、子音の読み方、音節、アクセント等、スペイン語の発音、読み方の学習。 LECCIÓN 2 「ホテルのフロントでの会話」及び、男性名詞・女性名詞、複数形、冠詞、主格人称代名詞、動詞 ser の活用と用法。 LECCIÓN 3 「大学の外人コース受付での会話」及び、動詞 estar の活用と用法、疑問文・否定文、形容詞。 LECCIÓN 4 「大学のキャンパスでの会話」及び、規則活用動詞の活用。国名・国籍。 LECCIÓN 5 「授業の中の会話」及び、tener, ir, venir の活用、数字、時</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
スペイン語 Level 1a	宮下克子	水(4)	20	<p>刻の言い方。</p> <p>LECCIÓN 6 「キャンパスでの会話」及び、語幹変化動詞の活用、その他の不規則動詞、直接・間接目的格人称代名詞。</p> <p>LECCIÓN 7 「サッカー場での会話」及び、所有詞、指示語、比較級、最上級。</p> <p>LECCIÓN 8 「外国人コースの授業での会話」及び、点過去、前置詞。</p> <p>LECCIÓN 9 「キャンパスの中庭での会話」及び、点過去不規則動詞、疑問詞。</p> <p>LECCIÓN 10 「大学の喫茶店での会話」及び、線過去の活用と用法。</p> <p>LECCIÓN 11 「休暇あけのキャンパスでの会話」及び、天候表現、存在文、不定語・否定語。</p> <p>LECCIÓN 12 「街の喫茶店での会話」及び、現在分詞、曜日、手紙の書き方、メール。</p> <p>LECCIÓN 13 「図書館での会話」及び、過去分詞、現在完了、関係代名詞。</p> <p>LECCIÓN 14 「ホームステイ先の家での会話」及び、受動文、再起動詞。</p> <p>LECCIÓN 15 「映画についての会話」及び、不定人称の表現。</p> <p>及び、ビデオ (ESPAÑA VIVA) を用いて、挨拶、買い物、紹介、などの簡単な会話を学ぶ。</p> <p>成績評価方法 1. 出席状況, 2. 試験, 3. 学習に向かう姿勢</p> <p>教科書 ESPAÑOL VIVO (生き生きスペイン語) 福嶋教隆朝日出版社</p> <p>参考書 辞書: 例えば『現代スペイン語辞典』白水社など。</p> <p>授業時にプリント等を配布する。</p> <p>注意事項 辞書に関しては、上記の『現代スペイン語辞典』に限るものではない。スペイン語を学習する上での各々の意図に応じて、あるいは好みに沿って選んでください。</p>
スペイン語 Level 2a	川田玲子	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 一年次又はスペイン語 Level 1 で身につけたスペイン語の知識をもとに、スペイン語力のさらなる向上を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 第Ⅰ・Ⅱ期のスペイン語1・2・3・4またはスペイン語 Level 1a・b の授業を終えている、もしくはそれに相応する基礎知識を有すること。</p> <p>授業内容 毎回一定時間を中級文法の説明に当てる。文法説明の後、簡単な Lectura や Diálogo を読み、内容に関して質疑応答をしながら、日常会話の練習をおこなう。練習の形は二人あるいは二人以上のグループなどさまざまである。</p> <p>基本的な表現・よく使う表現はその都度覚えていくようにする。その他、スペイン及びスペイン語人口3億人とも言われるラテンアメリカの文化・社会に関して時間の許す限り紹介する予定である。また、受講者から何らかの要望があればできる限り対処する。</p> <p>成績評価方法 出席、授業への積極的な参加など総合的に評価する。</p> <p>教科書 特に教科書は指定せず、随時プリントを配付する。</p> <p>参考書 初回に紹介する。</p> <p>注意事項 毎回西和辞典を持参すること。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 1a	李正子	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。</p> <p>バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」である。</p> <p>授業内容 この授業では次のような能力を養成する。 書記法…ハングル (朝鮮・韓国文字) の構成を理解し、確実にかつ美しく書けるようにする。発音…韓国語の母音と子音を正しく発音し聞き分けられるようにする。特に、日本語にはない終声 (パッチム) や平音・濃音・激音の区別などに慣れるように練習する。また、朝鮮・韓国語リズムやイントネーションで文章を発話できるようにする。 ハングルを正しく読むための音韻規則のうち連音化、有声化、鼻音化など基本的なものを着実にマスターする。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・ 韓国語 Level 1a	李 正 子	木(4)	20	<p>文 法…初歩的文法を学習する。 学習する主な文法事項は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用言の種類による文種（指定詞文・存在詞文・形容詞文・動詞文） ・機能別の文種（平叙文・疑問文・命令文・勧誘文・感嘆文） ・否定文（長い否定と短い否定） ・数詞（漢数詞・固有数詞） ・基本的な助詞（「は」「が」「を」「も」「に」「で」「から」「まで」「と」などに相当するもの） ・文体（あらたまった丁寧体・くだけた丁寧体） <p>ただし、機能別の文種のうち命令文、勧誘文、感嘆文、文体のうちくだけた丁寧体については、必要に応じて簡単に習う程度にとどめる。これらについて詳しくは初級朝鮮・韓国語2で学習する。</p> <p>口頭表現力…日常よく用いられる典型的な挨拶表現などを適切に使えるようにする。</p> <p>成績評価方法 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。</p> <p>教科書 自家版教材（教室で頒布する）</p> <p>参考書 必要なものは授業中に指示する。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2a	鄭 芝 淑	火(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。</p> <p>また、言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 の履修者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくてもかまわない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文Ⅰの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。</p> <p>学習事項は、次のような表現形式である。（ただし、順不同。字間の都合により項目の出し入れもある）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 疑問…知りたいことを相手に尋ね、またそれに答えるための種々の表現形式を学習する。疑問形式は対話において最も重要な役割を果たし、ヴァリエーションも最も豊富であるので、特に重点を置いて練習する。 2) 否定…陳述を打ち消すための表現形式を学習する。 3) 感嘆…感情を込めて表現するための形式を学習する。 4) 依頼・指示・禁止…相手に何かをさせよう、あるいはほしくないようにするための表現形式を学習する。 5) 願望…自分がやりたいことを相手に伝える、あるいは相手の願望を尋ねるための表現を学ぶ。 6) 勧誘・提案…相手と共同して何かをしようというときに用いる表現を学習する。 7) 意志・予定…意思や予定を表す種々の表現に習熟する。 8) 推量・推測…出来事を推し量るときの表現形式を学習する。 9) 引用・伝聞…他人の言説を別の人に伝えるときの表現形式を学ぶ。 10) 可能・不可能…能力の有無、許可のあるなしを表す表現を学習する。 <p>成績評価方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験は韓国語による面接試験とし、その総合評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。</p> <p>参考書 必要な物は授業で指示する。</p> <p>注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
古 典 ギリシア語 Level 1a	有川貫太郎	木(1)	20	<p>本講義の目的およびねらい 古典ギリシア語は一見、文法体系が複雑でわれわれの接近を拒んでいるかにみえます。しかしどの言語でもそうですが、当時のギリシア人はごく自然にこの言語を用いていたはずで、この授業はその古典ギリシア語を、なるべく現代語のように学んで修得することをめざしています。ゆっくりと進んでいけばゆくゆくは、原典を読むことも可能になると思います。私たちの周りの欧米系の日常語には、ギリシア語に由来するものが意外に多く見られます。例えばパソコン関連だけでも「ディスク」「アイコン」等々。この例からもわかるように、ギリシア語は欧米文化の基底にあると言ってもよい言語の一つです。</p> <p>履修条件・関連する科目等 とくにありません。すこしでも興味のある人は、自由に参加してください。</p> <p>授業内容 黒海から積荷をのせた船が今アテネの港ピレウスに入ろうとしている。遠くには女神アテネ像が燦然と輝くアクロポリスの丘も望まれる。その船上のシーンからこの教材が始まります。「こちらにきてごらん、アクロポリスが見えるよ」。</p> <p>イギリスのギリシア語教育者たちの編集になるこの教材は、古典作品を巧みにアレンジして作られています。私たちはソクラテスの生きた時代のアテネにタイムスリップして、ギリシア語の世界に導かれ、そこで話される「生きた言葉」としてのギリシア語を学ぶことができます。</p> <p>まずアルファベット（ギリシア語のはじめの文字アルファ、ベータからきた語）の文字に慣れましょう。その発音と書き方から始めて、やさしい対話とナレーションからなる教材にそって、言葉の基礎を学んでいきます。教材の一部にはテープもあります。これに耳を傾けてなるべく多く音読練習をします。</p> <p>文法としては、冠詞、名詞、動詞を中心に、多くの変化を学ばなくてはなりません。体系的にかつ精密にゆくりと学んでいきます。</p> <p>成績評価方法 平常点（日々の練習達成度、提出課題など）と期末テストによって総合的に評価します。</p> <p>教科書 1. Reading Greek: Text. (The Joint Association of Classical Teacher's Greek Course) (Cambridge University Press) 2. Reading Greek: Grammar, Vocabulary and Exercises. C. U. P.</p> <p>注意事項 教材はテキスト1冊と解説書1冊からなる。テキストのほうは必須。参加者数を確認してから注文する。</p>
ポルトガル 語 Level 1a	兼安シルビア 典子	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 本授業は、初めてポルトガル語を習う人たちばかりでなく、今一度基礎からやり直したい人たちも対象としており、ブラジルポルトガル語の発音及び基礎的な文法事項を徹底的に学び、今後ポルトガル語の学習を続けていくうえで必要となる基礎力の養成を目的とする。</p> <p>履修条件・関連する科目等 特になし。初心者のみならず基礎からもう一度やり直したいという人も受講可能である（院生及び教職員も受講の対象とする）。 なお、いずれの場合でも、2期（前期と後期）連続で履修できることが望ましい。</p> <p>授業内容 このポルトガル語Level 1の授業は、週一度の授業で一年間かけてポルトガル語の基礎を修得するクラスである（後期も同じ木曜2限の授業に接続する）。</p> <p>そのため、ブラジルポルトガル語の最も基礎的な文法事項を徹底的に学習できるように企画された教材を用い、十分な練習問題を織り混ぜながら無理のないペースで順次ステップアップしていく予定である。また、発音クリニックを行いながら「聞く・話す・読む・書く」という総合的な運用力を付けて基礎的な会話力を強めてゆくとともに、受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介も併せて行ってゆきたい。</p> <p>授業の展開は次のように予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット ・あいさつ ・紹介 ・SER 動詞の活用（直説法現在形）と用法 ・指示詞、所有詞 ・数詞、日付の表現

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
ポルトガル語 Level 1a	兼安シルビア 典子	木(2)	20	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞 ・規則動詞の活用（直説法現在形） 成績評価方法 定期試験に加え授業参加を重視し、総合的に判定。 教科書 来年度出版予定の教科書を用いるため、今年度はそのコピーを配布。 参考書 辞書が必要である。ポ日のどの辞書でもかまわないが、これから購入される場合は、動詞の活用を掲載する次の辞書を推薦する：『現代ポルトガル語辞典』池上岑夫他編、白水社。 注意事項 語学の学習は積み重ねの結果であるため、次のステップに進むには既に習ったことの復習が不可欠である。
ポルトガル語 Level 2a	水戸博之	木(4)	20	本講義の目的およびねらい 本授業は、既に何らかの方法でポルトガル語の基礎を身に付けた人、あるいは学習歴のある人を対象にしている。今年度は、日本語を母語にする教員が担当するので、基礎文法を下記の教科書を用い、性数の一致や動詞の現在変化の復習を行いつつ、「過去時制」「関係代名詞」などへ発展させていく。 初歩から中級への「橋渡し」がこの授業の位置付けである。 履修条件・関連する科目等 「ポルトガル語 Level 1a・b」の少なくともいずれかを履修していることがのがぞましい。または、それに準ずるポルトガル語の知識を有すること。 授業内容 授業は、次の二つの要素から構成することを考えている。 1) 指定教科書による基礎文法の学習。 2) 日本国内で見出されるポルトガル語（掲示物、新聞、放送など）を扱う。 指定の教科書の第25課から第39課までを扱う。 本授業では、様々な学習歴の受講者が集まることが予想されるが、できるだけ第24課までをあらかじめ一読しておいてほしい。 必要に応じて、前の課に戻り既習事項の復習を行う。 母語話者の協力が得られる場合には、演習に力を入れたい。 以下、各課の文法事項を掲載する。 第25課 主語以外の人称代名詞 第26課 疑問詞について 第27課 muito の用法：数量形容詞と副詞 第28・29課 完全過去と不完全過去の相違（第12課参照） 第30課 時間の経過を表現する：英語の「現在完了」とポルトガル語の場合。 第31課 再帰動詞について：se の用法 第32課 否定辞の用法について 第33課 進行形について 第34課 大過去（過去完了）について 第35課 時制の一致について 第36課 比較級：形容詞、副詞 第37課 複合完全過去（現在完了）について 第38・39課 関係代名詞について 成績評価方法 出席。課題への取り組み等。 教科書 河野彰『CDブックNHKブラジル・ポルトガル語入門』NHK出版2001年 参考書 辞書が必要である。これから購入される場合は次のものを推薦する：『現代ポルトガル語辞典』池上岑夫他編、白水社。 コミュニケーションボードを参照。 注意事項 教科書は途中から扱うが、前半の部分は読み物としても興味深い内容なので充分に活用してほしい。
ラテン語 Level 1a	水戸博之	金(2)	20	本講義の目的およびねらい ラテン語の習得はかなりの量の語形変化がともなうので、ともすると挫折しがちです（かく申す私も今だに泣いています）。なんとか、変化を記憶する負担を軽減する途はないだろうか。それはラテン語を現代語のように学ぶことかもしれません。ローマ時代にタイムスリップして、当時の日常にふれながら、ラテン語を生きた言葉として学びたいと思います。 今年度は、上級生に配慮し金曜日2時限、午前中の時間帯に開講しました。 履修条件・関連する科目等 自由に参加してください。関連する科目としては、有川先生担当の古典ギリシア語 Level 1 です。やはりラテン語とギリシア語二つそろって教養教育

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ラテン語 Level 1a	水戸博之	金(2)	20	<p>の「完成」です。 後期からの受講もがんばれば何とかできます。</p> <p>授業内容 イギリスで作られたこの教材は、われわれが初めて英語を習ったときのように、やさしい日常のシーンから始まります。ヴェスヴィウス山の麓、ポンペイの町に住むある商人の家族。(これは実在した家族で、今でも遺跡をみることができます)「カエキーリウスは父です」。母、息子、そして奴隷たち。家の様子、市民たちの日常。 時あたかも紀元79年、やがて火山が爆発して…… この教材で上級に進めば、ヴェルギリウスなどの原典も扱われますが、まずはしっかりと基礎固め。「フェスティナー・レンター (ゆっくり急げ)」。ラテン語も日常語だったことを思いながら、自然な発音ができるように練習しましょう。部分的にはテープもあります。 文法は適宜説明します。 今年も、水戸 (スペイン語・ポルトガル語学) が担当します。 ほぼ前後期2学期で12課 (Stage) から構成される教科書1冊を終了します。前期の進度は、Stage 7 を目標にします。 平易な文法によって書かれたラテン語の文章ですが、なかなか興味深い内容です。 文法解説や練習問題に相当する部分は、原則としてすべて授業で扱います。また各 Stage には、ローマの文化や社会がきれいな写真とともに解説されています。時間の関係で、授業中直接言及することはできませんが、やさしい英語で書かれていますので、授業の進度に合わせて読み進んでください。</p> <p>成績評価方法 出席とレポートを総合して評価します。 教科書 CAMBRIDGE LATIN COURSE, UNIT I (North American Edition) 参考書 文法書は適宜紹介しますがとくに指定しません (コミュニケーションボード参照)。 辞書は、田中「羅和辞典」(研究社)、または英独仏西語等によるラテン語辞典。 インターネットでも、ラテン語学習に役立つサイトがあります。探索してみましょう。 注意事項 基本的には2002年度の有川先生の授業と同内容ですが、担当者が水戸になります。教科書の入手方法については、初回の授業で受講者と相談します。</p>
イタリア語 Level 1a	C. Galisch	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい イタリア語の基礎を習得し、イタリア語の文章を読み書き、イタリア語を話せるようにすること。</p> <p>履修条件・関連する科目等 2期 (前期と後期) 連続で履修することが望ましい。</p> <p>授業内容 イタリア語文法の基礎事項を解説しつつ、簡単な文章を読んだり書いたりすることを学習させる。会話の練習では現代イタリア語でよく使う表現を学び、イタリア語による表現能力の習得に重点を置く。</p> <p>成績評価方法 レポート (イタリア語による文章作成) の採点による。</p> <p>教科書 指定しない。会話の教材のみ必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>参考書 自習用に、自分に合ったイタリア語入門テキストとイタリア語辞書を選び入手すること。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 文 化 言 語 文 化 セ ミ ナ ー	D. Ramsey	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい This advanced seminar in comparative cultural studies aims to develop listening, speaking, and critical thinking skills, with special emphasis on the ability to analyze, interpret, and to make presentations before a group of people.</p> <p>履修条件・関連する科目等 An eagerness to learn and to share ideas.</p> <p>授業内容 All cultures have traditions that explain why the world is the way it is and how it was created. Many of these traditions are part of the religious teachings of different cultures and explain geophysical and astronomical phenomenon, as well as the creation of plants, humans, and (other) animals. Some stories are very particular in their focus & #8212; explaining, for example, a particular mountain or why a particular animal looks the way it does. These traditions and stories may be grouped as genesis stories (creation of the world) and etiological stories (why something is the way it is), though the two are often conflated.</p> <p>In this class, we will read and discuss creation stories from around the world-Africa, America, Asia, and Europe. Some of the tales we will look at explain, among other things, the creation of the earth, the creation of humans, the divide of gender (men and women), and the creation of different races. We will also, however, look at other forms of artistic expression & #8212; including painting, sculpture, music, and dance & #8212; that participate in the construction and dissemination of genesis and etiological traditions.</p> <p>The class will involve lectures, small group work, and student presentations.</p> <p>成績評価方法 Regular attendance, active class participation, presentations, and reports.</p> <p>参考書 Dictionary.</p>
英 語 文 化 言 語 文 化 セ ミ ナ ー	上 原 早 苗	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい セミナー・テーマ「文学作品を翻訳する」</p> <p>翻訳とは単なる英文和訳でなく、翻訳者の表現力や文化的背景に対する知識が要求される、知的かつ芸術的な作業である。この授業ではヴィクトリア朝イギリスを代表するトマス・ハーディの作品を読み、イギリス文化への関心を養いながら翻訳技術を含む英文読解力の向上を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 英語の上級能力、少なくとも中級以上の能力を必要とする。</p> <p>授業内容 授業の具体的な展開は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 翻訳とは何か <ul style="list-style-type: none"> * 文化と論理構造の差異 * 文化的背景の重要性 * 「リスペクタブル」なイギリス社会 2 翻訳の技法Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> * 無生物主語をどう処理するか * 余分な代名詞をどう処理するか 3 翻訳の技法Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> * 「の」をどう処理するか * 文章のトーンをどう決定するか 4 翻訳の技法Ⅲ <ul style="list-style-type: none"> * 作中人物の個性をどう言語化するか 5 翻訳の技法Ⅳ <ul style="list-style-type: none"> * 話法の差異をどう処理するか * 自由間接話法をどう訳すか 6 翻訳プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> * ハーディの作品を実際に翻訳する <p>授業中に適宜、絵画・ビデオ等を使用しながらイギリス社会・文化に関する説明をするが、講義だけでなく、受講者によるレポートの作成・発表によって、より大きな成果をあげていきたい。</p> <p>成績評価方法 授業中の発表内容、ディスカッションへの参加 (40%)、翻訳プロジェクト (60%)</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 文 化 セ ミ ナ ー	上 原 早 苗	木(2)	20	<p>教科書 プリント使用 参考書 池田潔『自由と規律』(岩波新書) 英英辞典および類語辞典(授業中に別途指示) 注意事項 実力をつけたい学生のためのクラス</p>
英 語 文 化 セ ミ ナ ー	Chua Liang	木(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to help students discover the relationships between language and culture, and language and society. It is hoped that students will become more sensitive to the cultural and social aspects of language. 授業内容 Classes are conducted entirely in English. Through reading and discussion, students will learn how culture and society affects language and vice versa. Examples will be drawn mostly from English. The topics to be covered include Language and context, Language and ethnic group, Language and social interaction and so on. Students will learn about how languages of different cultures encode their different world views, how language can be said to be a mirror of society. Students will also learn about how language vary depending on geography, social class, gender and age. In Language and gender, students will see how the traditional male-dominance in English-speaking countries is reflected in the English language. The use of English as a language of wider communication will also be discussed and the consequences examined. Although English has benefitted many by being world lingua franca, it sometimes causes the displacement of minority languages. Minority groups in North America have shifted to English and the Singaporean Chinese have abandoned their ancestral Chinese varieties for English and Mandarin. 成績評価方法 Attendance, participation and an examination. 参考書 Language in Society, Suzanne Romaine, Oxford University Press.</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	滝 沢 直 宏	水(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 言語文化サテライト・ラボ(言語文化部棟LL31番教室)を使い、受講生各自が選んだ英文の多読と精読を平行的に行いつつ、電子化された大規模な英語の資料(1億語から成る現代英国英語のコーパス)を利用して、英語表現力を向上させることを目的とする。 その際、文法やコロケーション(語と語の慣習的結合)に十分な注意を促す。 授業内容 各自、自らが選んだ英語の雑誌・新聞などを定期的に購読し、「自分では辞書を引かなくても意味が分かるが、なかなか自分から使うことはできない」表現で、なお且つ「真似てみたいと思うような」表現を数多く収集し、それを基にして、表現力の向上を図る。 まず、初回において、 (1) どの程度の難易度の英文を選択すべきか、どのような雑誌・新聞などを読むべきか に関して解説する。 (2) 利用すべき英英辞典、英和辞典の紹介 (3) コーパスとは「電子化された大規模な英語の資料」である。名古屋大学では1億語から成る現代英国英語のコーパス(British National Corpus)を利用できる 環境が整っているので、そのコーパスの利用方法に関して簡単に紹介する。(但し、マニュアル(英文)がオンラインで読めるようになっているので、詳細は各自で学ぶことになる。) (4) 英語の表現力を伸ばすにあたって、どのような英語表現に注目すべきかを具体的に解説する。 以上のことを前提にして、第3週目以降、毎週、各自が選んだ表現を事前に電子メールで提出して貰う。授業では、その表現のどこが有益であるのかを何人かに発表してもらい、皆で議論する。また、そのようにして収集された有益な表現が実際にどのように使われているかを、コーパスを利用して調査し、表現力の向上を図る。その際、コロケーション(語と語の慣習的結合)にも十分な注意を促す。 成績評価方法 宿題(第3週以降、毎週)、レポート(学期末) 教科書 各自、講読する雑誌、新聞などを入手すること(WWWからコピーしても構わない)。詳細は初回に指示する。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	滝 沢 直 宏	水(2)	20	<p>注意事項 英英辞典を必ず一冊は用意し、頻繁に引くこと。コンピュータを多用する。 宿題は、電子メールで提出するので、電子メールが使えない人は受講不可。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	長 畑 明 利	金(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 英文を書く力を養う。英語での口頭発表に慣れる。英語でのディスカッションに慣れる。映画を題材に、自分なりの意見を培う。</p> <p>履修条件・関連する科目等 学習への意欲と知的社会的関心。辞書を引いて英文が書けること。辞書を引いて『ニューズウィーク』程度の英文が読めること。英語リーディングの単位を2単位取得していることが望ましい(学部生の場合)。映画について語ることが好きだとよい。</p> <p>授業内容 毎週1本の映画について英文エッセイを書き、またそれについて英語で発表し、ディスカッションを行う授業。授業はすべて英語で行う。授業および授業外の課題のあらまは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週指定された映画ビデオ(あるいはDVD)を観る。授業時間以外に上映会を行うが、貸しビデオ屋で借りて自宅で観てもよい。上映会の時間は受講者と相談のうえ決める。 ・受講者は各自その映画についてレポート用紙1枚程度の映画評を英文で書く——冒頭にその映画の評価を記し(星4つから星なしまで)、本文ではその評価理由を述べる。映画評は毎回の授業時に提出し、教員が英文をチェックして後日返却する。受講者は返却された映画評を読み直し、英文の誤りを訂正したうえで、清書したものを電子メールで教員に送る。受講者の映画評一覧は授業用のHPに掲載される。HPではその映画のクラス全員による評価の平均も掲載する(例えば☆☆☆という具合)。 ・授業ではまず、映画の内容を確認し、そこに見出される種々のトピックについて英語によるディスカッションを行う。ディスカッションの参考となるようなレビュー等をあらかじめ配布しておく予定。 ・その後、二人の発表者によるプレゼンテーションを行う。発表者はあらかじめ決めておき、原稿を受講者の人数分(プラス教員およびTA用)コピーして発表時に配布する。発表は原稿を読んでもよいこととする。発表後、質疑応答をする。発表及び質疑応答で合計一人10分程度の子定。質問あるいはコメント1回につきボーナス点あり。 ・授業後、参加者は授業用の掲示板に発表についての短いコメントを投稿する。 ・映画の選択については、受講者の意見も参考にするが、基本的には古典的な作品を選ぶ。アメリカ映画を中心とするが、それ以外のものも含める予定。現在考えている作品リストを授業のHPに載せておく。 <p>成績評価方法 毎回の映画評(4割)、発表(2割)、掲示板(1割)、期末試験(3割)、発言回数(ボーナス)の予定。なお映画評にインターネット等からの切り張りが見出された場合、その時点で成績を不可とする。</p> <p>教科書 特になし。レビューなどはプリントあるいはオンラインの文書を用いる。</p> <p>参考書 ジェイムズ・H・M・ウェブ『日本人に共通する英語のミス121』(ジャパン・タイムズ)。必要があれば、授業中に、またHPでも紹介する予定。</p> <p>注意事項 実力を付けたい人のためのクラス。欠席3回で単位放棄とみなす。当然のことながら、私語、ケータイ、睡眠禁止。授業のHPで最新の情報を確認すること。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	杉 浦 正 利	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい 英語でわかりやすい文章が書けるように文章構成法を習得することを目的とする。和文英訳ではなく、自分の意見を、事実に基づき合理的に英語で論述することができるようにする。</p> <p>インターネットを使った英語での情報発信や、将来、専門論文を英語で書く時に、指針となる英語文章構成法の根本原理を学んでもらいたい。</p> <p>授業内容 五百語から千語程度の「エッセー」(小論文)を実際に書くことを通して、いかにわかりやすい文章を書くかということ学ぶ。エッセーはコンピューターを使って書き、インターネット上で閲覧できるようにする。いわゆるホームページの作成に使われるHTMLを使い、英語の文章に構造を持たせる方法を学ぶ。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 言 語 表 現 セ ミ ナ ー	杉 浦 正 利	火(3)	20	<p>具体的には以下の項目を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文章を書くとはどういうことか 2) 構造と言語表現化 3) パラグラフの構造 4) 論文(エッセー)の構造 5) 文章構成法の基本パターン 6) 構造をあらわす表現 7) HTMLと文章構造 8) アウトラインの書き方 9) 文章化の方法 10) 推敲のポイント <p>毎回、授業の初めに英語論文でよく使われる表現の小テストを行う。各授業では、学習項目の解説と実際の英語文章作成演習を行う。</p> <p>この授業を受けることで、だれでもわかりやすい文章を書くコツがわかるようになる。また、将来、英語で専門論文を書く人にとってもその基礎を学ぶことができる。</p> <p>成績評価方法 出席、平常点、期末試験の三つの観点より総合的に評価する。</p> <p>教科書 藤本滋之『やさしく書ける英語論文』松柏社</p> <p>参考書 名古屋大学言語文化部『インターネットと英語学習』開文社出版</p> <p>注意事項 コンピューターを使うが必要な操作は授業中に教えるので、コンピューターの操作に慣れていなくても心配ない。</p>